



令和5年度 中南郡老連芸能発表会盛大に開催

令和5年12月22日(金)、藤崎町文化センター大ホールで開催、凡そ四〇〇人の観覧者で賑わった。

出演種目はレクダンス・唄・舞踊・漫談・寸劇・スコップ三味線で、中南郡老人クラブ(大鰐町・田舎館村・西目屋村・藤崎町)から23組が出場した。

一、開会の言葉

中南郡老人クラブ連合会副会長 三浦康子(西目屋村老連会長)

ただ今より令和5年度中南郡老人クラブ連合会芸能発表会を開催します。

二、挨拶

中南郡老人クラブ連合会長 山崎 洋



今日は多くの方々にお集まり頂きありがとうございます。この発表会は、4年前に新型コロナウイルス感染症が発生して以来中止になっていました。今日は4年ぶりの開催で、まだまだ新型コロナウイルスウィルス・それからインフルエンザには注意を怠らない様お過ごし下さい。今日は普段それぞれが練習されているダンス等色々な発表が行われます。皆さんの町内などからも参加されていると思います。どうか熱い熱い応援をして頂きます様お願い申し上げます。

三、開演
司会進行 藤崎町老連
副会長山内誠一郎

語りかけるような話術で始まった。
出演者は曲に乗せて歌う・踊



レクダンス「渡し船」 (レクダンス部)

発行者
藤崎町老人クラブ連合会
藤崎老人福祉センター内
電話 0172-75-3232
Fax 0172-75-2128



津軽海峡冬景色
齋藤君子さん



漫談 新谷キミヨさん

2時間の発表がアツという間に終了した。

四、講評

中南郡老連理事 山田 司(大鰐町老連会長)

会場の皆さんには、温かい声援と拍手、ありがとうございます。

さすがに今日出演されている皆さんは、それぞれの老連を代表しての発表ですので、熱演・熱唱、十分楽しんで頂きました。来年もあると思うので、お互いに歌とか踊りなどの趣味を深め、次の芸能発表会にはお互い元気な姿でお会いしたいものだと思います。今日は本当に御苦労様でした。

五、閉会の言葉

中南郡老連理事 館山新一(藤崎町老連会長)

お疲れ様でした大変な雪の中ありがとうございました。体に気をつけて良いお年をお迎えしたいと思いますのでよろしくお祈りします。

最後は、恒例になりました三本締めで終わりたいと思いますので、皆さんよろしくお祈りします。

六、抽選会

抽選で幸運な観客30名に常盤養鶏の卵40個入りの賞品が贈られた。



「津軽さくら物語」 一條ちづ子さん



愛のままで神 昭子さん



イヨマンテの夜 一戸了さん

2月行事予定表			
日	曜	行事	時刻
1	木	囲碁・将棋部	12:30
2	金	老連役員会	10:00
3	土	レクダンス部	9:00
3	土	ふじ健大OB会	11:00
4	日		
5	月	芸能部	12:00
6	火	囲碁・将棋部	12:30
7	水	女性部会	9:00
8	木	老連理事会(文セ)	10:00
8	木	囲碁・将棋部	12:30
9	金		
10	土	レクダンス部	9:00
11	日	建国記念の日	
12	月	振替休日	
13	火	囲碁・将棋部	12:30
14	水	茶道部	13:00
15	木		
16	金		
17	土	レクダンス部	9:00
18	日		
19	月	芸能部	12:00
20	火	囲碁・将棋部	12:30
20	火	広報委員会	13:30
21	水		
22	木	囲碁・将棋部	12:30
23	金	天皇誕生日	
24	土	冬季トランプ大会	9:00
24	土	レクダンス部	9:00
25	日		
26	月	生け花部	10:30
26	月	芸能部	12:00
27	火	遊びランド(藤小)	
27	火	囲碁・将棋部	12:30
28	水	茶道部	13:00
28	水	地域高齢者担い手研修会	青森市
28	水	囲碁・将棋部	12:30
29	木	【白寿】配布日	16時→



津軽あいや節 町田タエ子さん



はぐれ雲どこへ
松田富美子さん



紀伊国屋文左衛門
清野草名議さん



長崎の鐘 齋藤二郎さん



火の国の女 福士キワさん



イタコ(久井名館松葉会)



「大阪ラブソディ」(レクダンス部)

◆老連理事会のお知らせ◆

一月号で詳細をお知らせ致しましたが、再度、日程のみをお知らせします。

一、日時 2月8日(木) 10時〜12時

二、場所 藤崎町文化センター3階 多目的ホール

三、日程

(1)受付 9時30分〜10時

(2)開会 10時〜10時10分

(3)県老連会長表彰状の伝達 10時10分〜10時20分

(4)東町シニアクラブ「ユニカール全国大会優勝報告」

(5)講話 10時20分〜10時40分

演題「住みよい町づくりと高齢者対策」

講師 藤崎町長 平田 博幸氏

四、閉会 11時30分

冬季トランプ大会のお知らせ

一、日時 2月24日(土) 午前9時開会

(受付8時30分)

二、場所 藤崎老人福祉センター集会所

三、対象者 町内老人クラブ会員で男女は問わず

四、種目 個人戦のみ(午前3試合)

★3回戦の取得点数の合計点で決定。

五、会費 壹千円(賞品・弁当代 当日集)

六、申込締切 2月15日(休)迄 両福祉センターへ

七、その他 (電話での申込は受付しません)

①大会は町老連大会ルールで行い、その他必要な事項については、当日説明します。

②表彰は1位〜10位迄と、飛び賞・ブービー賞です。また、参加者全員に参加賞を差し上げます。

③昼食は、事務局で用意し、持ち帰りとなります。④大会会場で「賭け・飲酒・喫煙」は禁止です。

研修・食する・おしゃべり三昧 館川シニア倶楽部 研修旅行

館山老連会長より、町福祉バスが点検の為使用出来ませんと連絡があり、別の事業所のバスを紹介され利用しました。12月3日(日)、参加人数15名で出発し、研修場所は行ったことの無い「JA津軽未来産直センターひらか」を選びました。品数や新鮮な商品の豊富さなど係員の説明で見学し、ついでに季節の野菜・果物を見て買い求めてきました。

休憩は気軽に楽しめる、平川市の「福家」です。従業員の案内で長い廊下を進み奥の洋間に通されました。窓からの外の景色もよく心が弾み嬉しくなり、豪華な料理?もテーブルに置かれていました。

生ビールを注文する時、会員から「各自で支払いましよう」との声があり、以前から出来たらいいなあと思っていた事が実現し、ありがたかった。

今年度から、飲食すべてが自費になりました。会員の皆様に感謝、感謝です。

食事中は「おしゃべり」がはずみ寛ぎました。湯船につかった人達は「いい湯だったなあ」と話していました。その後は皆でビンゴゲームを楽しみ、どんな賞品が当たるかドキドキハラハラしました。帰りに外へ出ると小雨が降っており集合写真が取れず残念でした。

帰りは途中で「ふじさき食彩テラス」へ寄り、新鮮な農作物や加工品を買い求め、満足した様でした。

旧和田商店前に着きました。どなたも体調も崩さず満足の様子で帰着しました。バスの運転手の方ありがとうございました。また、バス利用の受付係の方、バスの手配などとてもお世話頂きありがとうございました。

(木村トモ子)



常盤ひとり旅

第十回
石澤清五郎

「開いてみたら、女と犬がベロツと出て来た。カラポネやんだなア」と読者の方から言われ、頭を掻き「年の瀬がせまってから遺族となった不幸が二つ重なり、やれやれとひと息つく間もなく、かねてより予約していた四国地方の旅にかけ、帰って来たらすでに原稿切れであった。お許しの程。」

まア言訳はともかく常盤八幡宮の巻を続けよう。どこの社寺へ行っても石塔塚は見受けられる。常盤八幡宮も例に漏れない。

八月号でも書きましたがその続き。

第四の鳥居をくぐると左側に行儀よく四個の石塔が並んでいた。

右から①高さ一三〇cmに幅八八cmの長方形の加工石で、前面に、大正九年庚申年、真ん中に大きく庚申塚、左側に舊(旧)一月十三日、裏に次の方々の名前が刻まれてあった。浅利善太郎、浅利仁三郎、成田新助、浅利興四郎、成田第助、浅利重蔵、石動治三郎、三上元吉、成田善兵衛、須藤常太郎、石澤丑太郎、高木伴次郎、松木勇吉、浅利由吉、外村内有志者、発起人、高木興八、松木統一郎 ②高さ一一〇cmに幅下方九〇cmに上方五五cmの自然石だが頭は切ったのか平らである。(切ったとしたら当時のような道具で切ったものだろう)。真ん中に庚申塔その右側に天保三辰年左側に九月十七日とあった。天保三年は一八三二年だから今から一七一年前だ。それにしても天保の飢饉(十三年が天保の大飢饉)が始まった年なのにお金があったもんだ。常盤の人は裕福であったのか信仰心が厚かったのか、裏には字を刻んだ形跡はなく建立者は解明できなかったのが残念だ。③一番背が高く苔むして仲間うちで最も古いものと思われるが奉納月日の不明なのは遺憾、真ん中に庚申塔、その下方に十人の氏名の跡が見受けられたが朽ちてなかなか判読困難、加えて雪がどんどん降り、年寄りの私には長居はできず、いつかの機会にゆずりたいと早々に引き上げることにした。④一一五cmに幅六〇cmの自然石で、二十三夜と大きく書かれ、右に安政五年戌年、左に五月十三日、下方に願主の氏名があったが、下方が土の下となり、水洗いして清掃したら読めただろうがこ



常盤八幡宮境内にある
庚申塔 (本文②の写真)
天保九年 (1838)
9月17日の日付がある

歯なしの話 143

「米国と日本」

佐藤 透

昨年10月10日、24日まで米国に行ってきた。年寄なので今の内でないとい体力がもたないかも知れないという危惧からである。

(行き) 青森空港↓羽田空港↓テキサス州ダラス空港
港↓テネシー州ナッシュビル空港
(帰り) ナッシュビル空港↓シカゴ空港↓羽田空港

↓青森空港の行程である

昨年初頭に娘達家族が米国から日本に来たので、そのお礼と娘の旦那の父親が私に会いたいということとで、意を決して久しぶり(7・8ぶり?)に米国本土へ行ってきた訳である。長旅には慣れてはいるが、疲労が心配であった。

娘にも言われていたが、最近の飛行機は思った以上に快適である。座席の広さや食事、トイレ、言葉などどれも心配のいらぬレベルであるという訳である。ただ久しぶりなのでハブ空港(ハブ拠点空港、今回はダラス・シカゴ空港)特にダラス空港行きには戸惑った。大き過ぎるのである。海外発着便の

れも未決とすることにした。ごめん。

土の上に出ている部分には、石動、浅利、石沢、松木、黒瀧までは読めた。心当たりの子孫の方々、清掃して保存に努めては……。

この石塔塚の前に幹廻り一八五cmの銀杏の木があるが、浅利助次郎という方が植えたのだそう。その隣に桜の太木、境内では一番大きく胴廻りが三二〇cmあった。

参考「庚申信仰」千支の庚申の日にかかわる信仰60日に巡ってくる庚申の日に講を開く。集落の人々が集まり信仰対象の庚申を祀る。内容は庚申の日に人間の体内にいる三戸と言われる三匹の虫が、身体から抜け出て天帝にその人の罪過を報告するので、それを防ぐため眠らずに過ごす。

無病息災や長寿など現世利益の信仰を集めてきた。

他にA/Eの国内飛行機発着乗り場に電車が走っているのがある。以前行ったことのある空港なのだが、やはり様変わりして巨大化したようで、国内線の電車乗り場は1階から2階へ行くのであるが、それに気づくのに暫くかかった。

意を決して下手な英語でパイロットらしき人物に聞いてようやく納得し、国内線乗り場に向かった時には出発15分前であり、いかに手間取ったかという訳である。1時間半程、空港内をウロウロしていたのである。もう一つは日本と違うのは発着の電光掲示板が時刻順ではなくアルファベット順なので、またまたそこに気づくまで時間がかかった訳である。さて、そうこうして国内線(ダラス↓ナッシュビル)に乗り込んで2時間程で無事に娘の待つている空港に到着。預けてある荷物を受け取るために例のグルグル回る荷物運搬所で待っていたが、荷物が無いのである。さて困って娘を少々待たせ、もう一度隣のレーンを見たら見つけることが出来た。電光掲示板でダラス↓ナッシュビル等が書いてあるレーンの隣に荷物が来ていたのである。ここでも暫く時間がかかり娘や孫たちを待たせることになった。

このように外国に行くことは様々なすれ違いがあり、心配であり、戸惑いを生むことの連続なのだが、旅慣れている私の妹は「団体旅行で何の心配もなくスムーズにいった旅より、強い印象が残って後々まで楽しい思い出となるヨ」ということであり、今回も楽しく、楽しく過ごすことが出来、無事に帰着した。

川柳

朝刊をひらいて今日を確かめる

石動 弘一

もう少しふんばってよね同級生

高木アツコ

能登半島祈るだけです春を待つ

石沢ゆき子

底冷えや一夜のうちに銀世界

大原タエ子

ストレスと言うけど計る定規ない

鈴木 てつ